

千年の伝統～土と炎と技の共演 備前焼



釉薬を一切使わず土味をそのまま残し、じっくりと焼き締める「備前焼」。素朴で枯淡な味わいは、千年の伝統と日本人の心を今に伝えます。

また、日本で最初の庶民教育の場「閑谷学校」は、屋根には備前焼が使われ、特別史跡(国宝)として今もなお教育の歴史の場として学問の火を灯し続けています。この他、備前市には隠れた名所、旧跡が沢山あります。

備前焼について

備前焼は瀬戸、常滑、丹波、信楽、越前とともに日本を代表する中世六古窯の一つに数えられています。備前焼の歴史は古く、古墳時代より須恵器の生産を営んでいた陶工たちが平安時代から鎌倉時代初期にかけて、より実用的で耐久性を持つ日用雑器の生産を始めたのが誕生の時代といわれています。

備前焼の魅力は飾り気のない素朴さで、釉薬を用いない洗ひ焼上がりは、やがて茶人に認められるところとなり、桃山時代には茶器の名品が数多く焼かれました。今日まで約一千年の歴史の中で備前の街並みの窯から煙の登らなかつた日は一日たりとなく故金重陶陽、故藤原啓、故山本陶秀、故藤原雄の4人の人間国宝が誕生しています。土と炎と人の出会いによって生み出される茶褐色の肌の風合は、1200度もの高温で2週間も焼き続けられる窯の中で創造されるものです。

今日も300人あまりの優秀な陶工たちがこの備前の地に窯を構え、素晴らしい作品を数多く世に送り出しているのです。

岡山県備前陶芸美術館

JR赤穂線伊部駅前にあり古備前から現代に至る作品及び備前焼に関する資料を一堂に集め、展示しています。

入館料:大人500円 / 高校・大学生400円 / 小・中学生250円 / 団体(20名以上)及び65才以上100円引 開館時間:9時30分～16時30分 休館日:毎週月曜日



周辺の施設



330年も学問の火を灯し続ける「閑谷(しずたに)学校」

閑谷学校について

閑谷学校は、岡山藩第3代藩主池田光政が開いた庶民のための学校で、元禄14年(1701)に完成した。藩営の庶民教育機関としては、日本だけでなく世界でも最も古いものです。国宝の講堂をはじめ、敷地内にある建物にはすべて備前焼のかわらが使われており、その大部分が国の重要文化財に指定されています。

これらの建物群が春は桜や椿、夏は新緑、秋は楓(かえで)や楷(かい)の木の紅葉などの景観とマッチして一大絵巻をなし、四季を通して観光客の目を楽しませています。

備前焼伝統産業会館

1階は東備広域観光情報センター(観光案内、特産品販売)と喫茶、レストラン。2階は備前焼展示即売場。3階には総合研究室と技術研修室を設けています。総合研究室は一般の方も利用することができますので、会議、会食などにご利用ください。

入館無料 開館時間 9時30分～17時30分 休館日:毎週火曜日



藤原啓記念館

備前市穂浪の高台にあり、人間国宝・故藤原啓の作品と、桃山時代の古備前などを展示しています。

入館料:大人500円 / 高校・大学400円 / 小・中学生250円 / 団体(20名以上)100円引 開館時間 10時～16時30分 休館日:毎週月曜日



備前市の観光についてのお問合せ

備前市観光協会
TEL.0869-64-1100

